

ARISE ジャパン 公開シンポジウム 災害レジリエンス向上に貢献する 様々なカタチの企業の投資

SDGsや気候変動パリ協定でも提唱される「マルチステークホルダー参画」。その先例をつくったグローバルな枠組、「仙台防災枠組2015-2030」は今年、折り返し地点を迎えます。

4つの優先行動のうちの1つを「防災への投資」に据えた仙台防災枠組は、多様なステークホルダーがレジリエンスへの投資のあり方を見つけ、実践することの重要性を唱えています。

今年のARISEジャパン公開シンポジウムでは、企業の投資の2つのカタチ、(1) 自社の事業や施設の災害対応力向上に向けた経営戦略上のハード・ソフト投資、(2) 社会のレジリエンス向上に寄与する製品サービスの開発・提供のための投資を取り上げ、社内・社外問わず「災害リスクの理解」から「行動」に移すためのしかけをどう企業が創り出しているか、事例を交えて紹介いたします。

3月8日 水 16:00 – 17:30
(開室15:45)
ハイブリッド開催 (パズル浅草橋 及び Zoom)

事前登録制無料

参加申込み：オンラインにて受付
定員会場30名、オンライン90名
<http://bit.ly/arisejapan2023>
お問い合わせ：ARISE ジャパン事務局
secretariat@arisejapan.jp



主催：UNDRR ARISE ジャパン
共催：国連防災機関 (UNDRR) 駐日事務所



後援：一般社団法人 グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン
一般社団法人 日本防災プラットフォーム
一般社団法人 レジリエンスジャパン
推進協議会

16:00	主催者挨拶	ARISEジャパン 代表	高松 正人
16:05	共催者メッセージ	国連防災機関 (UNDRR)	
16:10	基調講演		
	巨大広域災害に企業はどう備える？	名古屋大学 減災連携研究センター 教授	西川 智
	事例発表		
16:35	企業連携防災及びBCPに向けた取組み	デンソー豊橋製作所 所長 明海地区防災連絡協議会 会長	阿部 守一
16:45	フジワラテクノアートの事業継続力強化の取組み	株式会社フジワラテクノアート 代表取締役副社長	藤原 加奈
16:55	多言語コミュニケーションで非常時の外国人支援	株式会社ブリックス グローバル事業本部 デジタルソリューション部 部長	北別府 彩
17:05	自治体の個別避難計画策定推進を支援	国土防災技術株式会社 技術本部第1技術センター 課長補佐	大沼 乃里子
17:15	企業における防災投資について	国際航業株式会社 代表取締役社長	土方 聡
17:25	ラップアップと閉会挨拶	国連防災機関 (UNDRR) 駐日事務所 代表	松岡 由季
	全体進行	ARISEジャパン代表	高松 正人

※プログラムは当日、内容の変更がある場合がございます

